



ロビーに多数飾られたつるし雛=伊豆の国市の伊豆長岡温泉「おおとり荘」、全日写連・藤田寛司さん撮影

3日は「桃の節句」。古代中国で3月上巳の日、水辺に出て心身を祓い清める風俗が始まりとされるが、わが国では女の子の健やかな成長を祈る「ひな祭り」として定着した。

実は、静岡県は「ひな祭り」大県である。毎年この時期には県と県文化財団共催の「高松宮妃のおひなさま展」(今年は3月4日まで静岡市・グランシップ)があり、徳川慶喜公の孫に

あたられる故高松宮妃喜久子さまがご成婚の際、持参された京雛がお披露目され

たらしい。

県教委はこのほど、スポーツ庁が全国の小学5年と中学2年の全員を対象に実施した2017年度全国体力テストの本県分の成績を公表した。それによると、中2女子は立ち幅跳びの全国4位を最高に全種目で全国平均を上回り、小5女子も8種目中5種目で全国平均を上回った。

県内の男女比較でも体力合計点で小5女子、中2女子とも男子を上回り、体力テストの結果からみると本県の「女の子」の健やかな成長ぶりがうかがわれる。

「高松宮妃のおひなさま展」会場に3776個の「つるし雛」が飾られている。富士宮市の女性中心の市民団体が、富士山の世界文化遺産登録を祈願して11年から製作を始めた。県内外からの協力もあって、13年6月の富士山世界文化遺産登録までに達成した。今年7月には、昨年末に開館した「富士山世界遺産センター」(富士宮市)でも展示されるという。

雅やかな高松宮妃京雛と並んで手作りのぬくもりがあるつるし雛が、女の子の健やかな成長を祈りながら、かすかに揺れていた。

(前静岡県監査委員・
富永雄)

一字 筆

静岡の今

る。県東部の伊東市や東伊豆町では野外では「日本一」という118段のひな壇飾りもお目見えする。